

## 2023年度 子ども第三の居場所事業 実施報告書

事業名：大阪府摂津市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営

団体名：公益社団法人 青年海外協力協会 拠点名：JOCA 大阪

助成金額：1,580,000円 事業費総額：1,980,000円 ※2024年3月末時点

### 1. 事業の目的

- ・子どもが大人や高齢者など、様々な世代・立場の地域の人と交流することによって「生き抜く力」を育む。
- ・子どもとの交流によって地域の人々の幸福感や生きがいを高めることも狙いとする。

### 2. 実施内容

#### ● 通常開所

- ・場所：JOCA 大阪（〒566-0024 大阪府摂津市正雀本町 1-20-7 第2文化）
  - ・開所時間：火曜日～土曜日 10:00～18:00 ※祝日を除く
  - ・子ども延べ来場者数：5,101人/年 ※2023年度実績
- シニア 3,470名、大人 2,396名、中学生以上から大学生 1,747名、他 414名 合計 13,128名

JOCA 大阪は受託業務として開発教育事業を中心に行っており、その運営業務を行う事務所である。事務所に地域の誰でも立ち寄れるフリースペースを併設することで、子どもから高齢者まで多世代の方々が安心して過ごせる居場所を作っている。フリーWi-Fiや50円セルフサービスコーヒーがあり、フードなど持ち込みOKで利用料も登録料も不要。



【1階スペース】奥は事務スペースだが、コーヒーを飲んだり、囲碁をしたり、世間話をしたり、子供たちはゲームや宿題をしたり…自由に過ごす場所です。写真左側がキッチンカウンター。



【2階スペース】「畳の部屋」  
2階も誰でも利用OKだが、日中は静かで、15時以降、土曜日は基本子どもの利用が多い。  
全体の4分の1が事務/倉庫スペースとなっている。

- コミュニティキッチン  
月2回（第一・第三土曜日）の子ども食堂、お惣菜販売（週2回火・金）  
その他地域及び国際的なイベント等
- イベントの不定期開催  
・目的・背景：  
①子どもたちの経験不足を補うこと  
②大人や保護者にとっても楽しい場を提供することで、保護者息抜きにしてもらうこと  
③子どもが様々な世代、立場の方々と関われる機会を提供すること  
④JOCA 大阪の認知を広げること

### 3. 成果

- 子どもの一日平均来場者数が、コロナ禍では数名のこともあったが、コロナ対策が緩和されていくにつれて次第に増え始め、2022年3月末時点では15名程度になり、2023年3月末では21名まで増加した。
- 開所時は1か月に2回ほどイベントを開催したことで子どもたちの口コミでJOCA大阪の認知度が高まった。その結果、コロナ禍でイベント実施数が減っても、子どもたちだけでなく大人や様々な立場の方々がJOCA大阪を訪れ興味を持ってくれるようになった。

#### 【コミュニティキッチンの運用】

下記2つの運用を目的として、コミュニティキッチンの貸出を行っている。子ども食堂では、JOCA大阪は無料で野菜の提供をしてくださっている野菜の卸業者との連携や、広報面で主に協力を行っている。

#### ①地域共生食堂（子ども食堂）

- ・主催団体：いっどりのわプロジェクト（任意団体）
- ・実施時間：毎月第1・第3土曜日 11:30～15:00 ※無くなり次第終了
- ・内容：子ども無料、大人300円で手料理を食べることができる食堂（1回60食）。メインターゲットの子どもたちにも多く利用してもらっており、また大人の利用もあるため赤字になることは無く運営することができている。

カレーとサラダとゼリーのメニューと当日のプレート



いろいろのわプロジェクトのみなさん

野菜を毎回寄贈頂く方に感謝



1階は高齢の皆さんが座られ、2階は子供たちや家族でのスペースとなる。



## ②お惣菜販売

・主催団体：お惣菜屋 和～nagomi～

・実施時間：毎週火曜日・土曜日 11:00～13:00、16:00～18:00 ※無くなり次第終了

・内容：1つ50円～150円ほどの手ごろな価格で且つ手作りのお惣菜を販売。営利目的の販売ではあるが、店主の気遣いで子どもたちに唐揚げを提供してくださったり、アメリカンドッグをふるまってくださったりしており、お腹をすかせた子どもたちのよりどころにもなっている。

また、JOCA 大阪の従来の利用者である子供たちから高齢者の皆さんに加え、お惣菜を求めて子育て世代の方もご来店頂けるようになった。これは、子ども食堂実施の相乗効果と思慮される。持続可能な支援と運営を今後も協働して進めて行きたい。



<p><b>お惣菜 和の 第1部</b></p> <p>5月31日 おしながき 11:30～13:00</p> <p>-揚げもん-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎唐揚げ ¥50</li> <li>◎メンチカツ ¥100</li> <li>◎梅しそ子キンカツ ¥100</li> </ul> <p>-ごはん-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎赤飯</li> <li>◎せじき</li> <li>◎ベーコンとキャベツのチーパン</li> <li>◎菊炊き込みご飯(パック)</li> </ul> <p>— いそいそお惣菜 —</p> <p><b>100円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ビール漬け(きゅうり)</li> <li>◎玉子焼き</li> <li>◎三つ葉と高野豆腐の玉子とし</li> <li>◎マカロニサラダ</li> </ul> <p><b>150円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ハンバーグ(玉ねぎソース)</li> <li>◎筍わかめ炒め</li> <li>◎春雨サラダ ¥250</li> <li>◎茄子のミートソースパ</li> </ul>	<p><b>お惣菜 和の 第2部</b></p> <p>5月31日 おしながき 16:00～18:00</p> <p>-揚げもん-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎唐揚げ ¥50</li> <li>◎しそバーグフライ ¥100</li> <li>◎明太チーズ巻 ¥100</li> </ul> <p>- いそいそお惣菜 -</p> <p><b>100円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎キャベツ旨漬</li> <li>◎玉子焼</li> <li>◎さんぴら</li> <li>◎キャベツサラダ</li> </ul> <p><b>150円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎つるもろこしとえのきの梅おかつ</li> <li>◎豚ハム</li> <li>◎¥300</li> <li>◎キムチ鍋</li> </ul>
---	---

#### 4. 成果Ⅱ「イベント」

##### ① 2023年8月3日 落語体験!!笑いを作るワークショップ (90分)

落語を通じた教育活動をしている方を講師にお招きして、地域の方参加型のワークショップを実施。実際に落語をして人を笑わせる体験をして、子どもと大人が交流する機会を作った。



##### ② 2023年8月21日 大学生とつくってあそぼ♪ (60分)

有志の大学生が工作教室を開いた。ビーズアクセサリーやランプを作り、夏休みの自由研究に役立ててもらったり、ひと夏の思い出作りの機会にしてもらった。



##### ③ 2023年9月24日 JOCA大阪5周年記念イベント ごちゃませ祭

JOCA大阪5周年を記念して、縁日のようなイベントを開催。

他、スイートポテトや鍋を子どもと一緒に作ったり、ラベンダースティックを地域のおばあちゃんと一緒に作ったりするなど、イベントとして実施はしていないが子どもたちの経験不足を補えるような機会も提供した。





### ●今後の展望

2019年の開設から2023年にて5周年を迎えることが出来ました。

日本財団「子ども第三の居場所事業」の支援を受けて、2021年に2階部分を特に子どもが集える場所に改築し、キッチンの設備も整えて子ども食堂を開始することが出来た。

お惣菜販売も、低価格設定と地域の方が作っている温かな味が好評である。

子ども食堂も、当初目標1回60食はほぼ毎回完食になるほど好評であるが、ボランティアでの運営であるため、容易に回数を増やせない課題を抱えている。

どちらの事業も、天候に大きく左右されるため（特にお惣菜販売で雨天の場合は、利用者数が半分程度になる。高齢者の方が多いため、雨天は外出を控えられることが要因）。

子どもの利用者の年齢は小学2～5年生が主体であるが、土曜日は中高生の利用も見られる。

今後は、当初からの目標でもある「子供の学習支援」などについて、地域の皆様、そして隣接する大阪人間科学大学や大阪学院大学等の教員や学生と協働してのプロジェクトの立ち上げるなどを進めていきたいと考えている。

ただ、子供たちの理想は、1時間でも大人に何も言われたい、制限を受けたい「ネバーランド」的な居場所の様であるため、そのJOCA（ジョカ）らしさをなくさない大人の工夫が求められると強く感じている。

以上